

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	岩手県	関係市町村	釜石市
事業名	水産物供給基盤整備事業（水産流通基盤整備事業）		
地区名	カミン 釜石	事業主体	岩手県、釜石市

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	釜石（第3種）	漁場名	-
陸揚金額	768 百万円	陸揚量	5,672 トン
登録漁船隻数	59 隻	利用漁船隻数	338 隻
主な漁業種類	定置網、船びき網、まき網、敷網、海藻類養殖	主な魚種	マイワシ、サバ類、オキアミ類、ブリ類、ワカメ類
漁業経営体数	30 経営体	組合員数	53 人
地区の特徴	本地区は、本県の中核的産地市場である釜石魚市場を有し、沿岸域の定置網漁場で漁獲されたマイワシやサバを中心に、サンマやブリなども多く水揚げされている。当該漁港で水揚げされた水産物は、県内外に出荷するほか、市内の水産加工場に加工原魚として供給するなど、水産物流通拠点として重要な役割を担っている。		
2. 事業概要			
事業目的	<p>本地区は、既存の荷さばき所が老朽化し、衛生管理の高度化への取組が難しいことに加え、陸揚岸壁の不足や荷さばきに十分なスペースが確保されていないことにより、取扱量の増加や作業効率化による鮮度向上が図れない状況である。さらに、荒天時には港内静穏度が不足し、漁船が衝突するなど危険な状況下での漁業活動を強いられている。</p> <p>このため、高度衛生管理型荷さばき所及び岸壁等を整備することにより、衛生管理の高度化及び陸揚作業等の効率化を図るとともに、防波堤等を整備することにより、港内の静穏度向上を図り、漁業活動の安全性を確保する。</p>		
主要工事計画	内港第3防波堤L=90m、護岸L=75m、-3m岸壁L=230m、-5m岸壁L=190m、-3m岸壁（改良）L=112m、-4m岸壁（改良）L=200m、防波堤除去L=65m、臨港道路（改良）L=620m、臨港道路L=520m、臨港道路（法面）L=100m、駐車場A=13,684m ² 、漁港施設用地A=3,380m ² 、荷さばき所N=2棟、漁港浄化施設N=2棟		
事業費	5,639百万円	事業期間	平成14年度～平成28年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
	本事業では、事業採択時に費用対効果分析を実施していない。
2. 事業効果の発現状況	
	<p>事業実施以前は、衛生管理が不十分であったが、高度衛生管理型荷さばき所の整備により、水産物の品質が向上した。また、陸揚げ岸壁の不足、荒天時の港内静穏度不足といった課題があったが、防波堤等の整備により、改善が図られた。</p> <p>現時点での費用対効果分析の結果、費用便益比は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</p>

3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された漁港施設は、管理者である岩手県が漁港及び漁場の整備等に関する法律第26条の規定に基づき漁港管理規定を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。また、荷さばき所についても、所有者である釜石市が適正に維持管理している。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>本漁港及び周辺海域の環境に変化は認められない。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>本漁港における平成13年度の登録漁船隻数は143隻、利用漁船は1,143隻であったが、漁業者の高齢化や人口減少等の要因により、令和5年には登録漁船は59隻、利用漁船は338隻に減少している。</p> <p>海洋環境の変化によるサケ、サンマ等の主要魚種の極端な不漁や燃料・資材価格の高止まりが続いており、漁業、水産加工業のほか、流通業など関連産業に大きな影響を及ぼしている。主要魚種の不漁が継続する一方、これまで漁獲されていなかった魚種の増加が見られることから、これら魚種の有効利用を検討していく必要がある。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本事業により、衛生管理の高度化、岸壁延長不足の解消などによる漁業活動の安全性向上が図られたことから、効率を長期的に維持させていくために、今後は施設の長寿命化対策と計画的な維持管理費が重要である。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成 年評価時の 費用便益比B/C	-	現時点の B/C	1.20	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

<p>本事業は、流通拠点漁港として水産物の衛生管理対策や安全な漁業活動の確保を図るために、高度衛生管理型荷さばき所、岸壁及び防波堤等の整備を行った。</p> <p>貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、費用便益比率は1.0を超えており、経済効果が確認されている。</p> <p>さらに、事業効果のうち貨幣化が困難な効果についても、魚価の向上や耐震・耐津波化による安心感の向上といった効果も確認されている。</p> <p>以上の結果から、本事業は漁業経営の安定及び地域経済への振興へ寄与したものとなっており、想定した事業効果の発現が認められる。</p>

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	岩手県	地区名	釜石
事業名	水産流通基盤整備事業	施設の耐用年数	50年 (荷さばき所：38年)

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	12,138,687
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果			2,131,801	千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	1,195,722	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果	1,582,773	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	17,048,983	千円
総費用額（現在価値化）		C	14,226,281	千円
費用便益比		B / C	1.20	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高度衛生管理による魚価の向上 ・ 岸壁の耐震・耐津波化による安心感の向上 ・ 臨港道路（法面）整備による利便性の向上 ・ 漁業就労環境の改善による労働意欲の向上

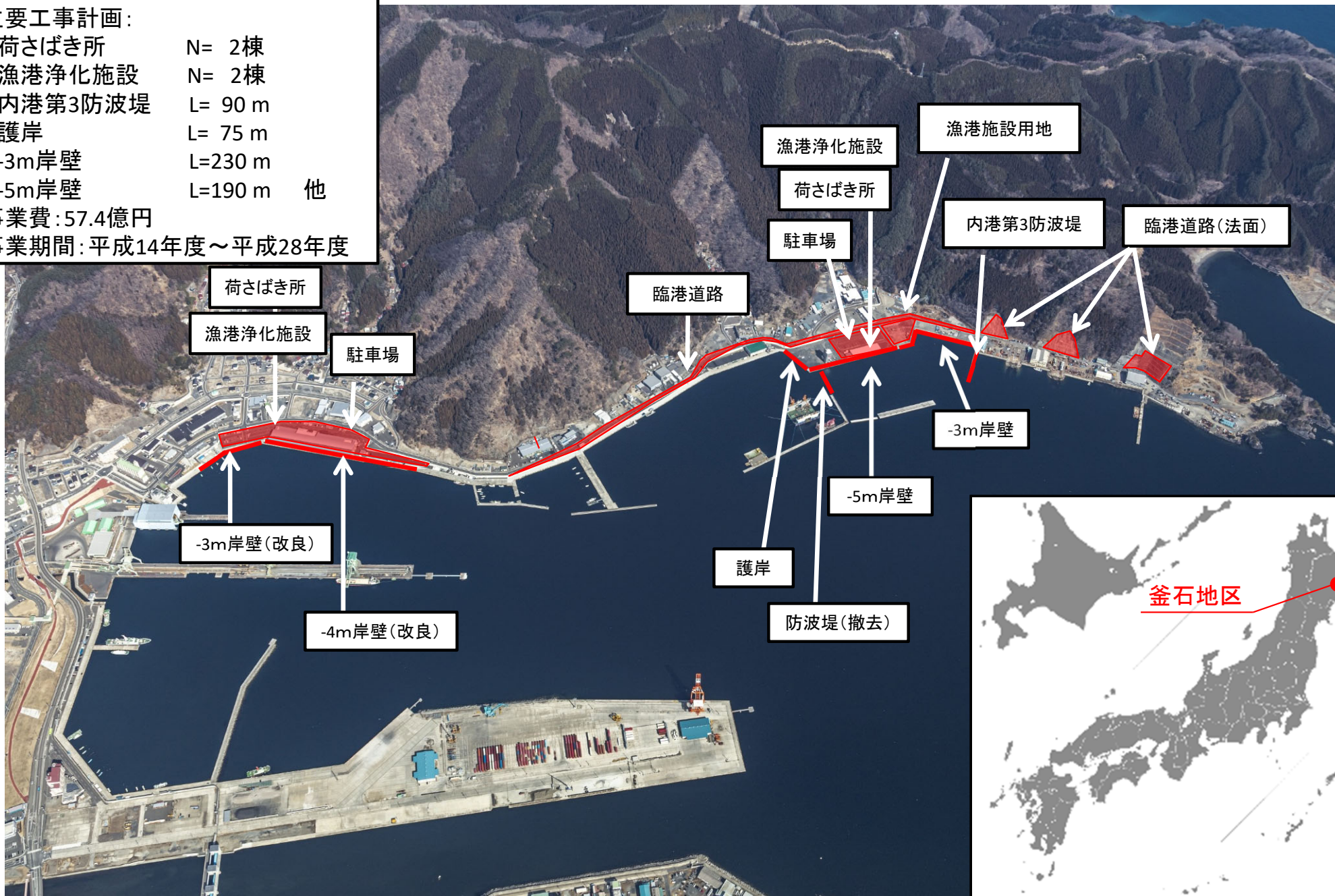
事業主体:岩手県、釜石市

主要工事計画:

- 荷さばき所 N= 2棟
- 漁港浄化施設 N= 2棟
- 内港第3防波堤 L= 90 m
- 護岸 L= 75 m
- 3m岸壁 L=230 m
- 5m岸壁 L=190 m 他

事業費:57.4億円

事業期間:平成14年度~平成28年度



釜石地区 事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 本地区は、既存の荷さばき所が老朽化し、衛生管理の高度化への取組が難しいことに加え、陸揚岸壁の不足や荷さばきに十分なスペースが確保されていないことにより、取扱量の増加や作業効率化による鮮度向上が図れない状況である。さらに、荒天時には港内静穏度が不足し、漁船が衝突するなど危険な状況下での漁業活動を強いられている。
このため、高度衛生管理型荷さばき所及び岸壁等を整備することにより、衛生管理の高度化及び陸揚作業等の効率化を図るとともに、防波堤等を整備することにより、港内の静穏度向上を図り、漁業活動の安全性を確保する。
- (2) 主要工事計画 : 内港第3防波堤L=90m、護岸L=75m、-3m岸壁L=230m、-5m岸壁L=190m、-3m岸壁(改良)L=112m、-4m岸壁(改良)L=200m、防波堤除去L=65m、臨港道路(改良)L=620m、臨港道路L=520m、臨港道路(法面)L=100m、駐車場A=13,684m²、漁港施設用地A=3,380m²、荷さばき所(新浜町)N=1棟、荷さばき所(魚河岸)N=1棟、漁港浄化施設(新浜町)N=1棟、漁港浄化施設(魚河岸)N=1棟
- (3) 事業費 : 5,639百万円
- (4) 工期 : 平成14年度～平成28年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和7年6月改定 水産庁)及び同「参考資料」(令和7年6月 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	14,226,281 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	17,048,983 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.20

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
内港第3防波堤	L= 90m	603,281
護岸	L= 75m	22,566
-3m岸壁	L= 230m	50,591
-5m岸壁	L= 190m	88,256
-3m岸壁(改良)	L= 112m	8,516
-4m岸壁(改良)	L= 200m	243,382
防波堤除去	L= 65m	20,500
臨港道路(改良)	L= 620m	86,238
臨港道路	L= 520m	75,177
臨港道路(法面工)	L= 100m	303,456
駐車場(新浜町)	A= 7,460㎡	82,493
駐車場(魚河岸)	A= 6,224㎡	8,365
臨港道路(法面工)	N= 1式	181,984
漁港施設用地	A= 3,380㎡	7,720
荷さばき所(新浜町)	N= 1棟	177,227
荷さばき所(魚河岸)	N= 1棟	3,341,316
漁港浄化施設(新浜町)	N= 1箇所	11,822
漁港浄化施設(魚河岸)	N= 1箇所	325,783
計		5,638,673
維持管理費等		954,216
総費用(消費税込)		6,592,889
内、消費税額		459,679
総費用(消費税抜)		6,133,210
現在価値化後の総費用		14,226,281

(3) 年間標準便益

区分	年間標準便益額(千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果	426,746	<ul style="list-style-type: none"> 防波堤等の整備に伴う出漁作業時間の短縮 岸壁等の整備に伴う利用漁船の港外航行時間の削減 岸壁用地などの整備に伴う作業時間の削減(小型漁船) 岸壁用地などの整備に伴う作業時間の削減(中・大型船) 岸壁・外郭施設の整備に伴う漁船耐用年数の延長 荷さばき所整備に伴う搬出入作業時間の削減効果(生産者) 荷さばき所整備に伴う搬出入作業時間の削減効果(運送業者、卸売人、買受人) 市場機能存続による代替市場への陸揚げコスト増大回避(沖合漁業) 市場機能存続による代替市場への陸揚げコスト増大回避(沿岸漁業) 市場機能存続による代替市場への買受業者輸送コスト増大回避(沖合漁業) 市場機能存続による代替市場への買受業者輸送コストの増大回避(沿岸漁業)
漁獲物付加価値化の効果	77,333	<ul style="list-style-type: none"> 高度衛生管理型荷さばき所等の整備による衛生管理面の強化効果
漁業就業者の労働環境改善効果	43,371	<ul style="list-style-type: none"> 屋根付き岸壁等の整備に伴う労働環境改善効果 臨港道路(法面)の整備に伴う労働環境改善効果
生命・財産保全・防御効果	67,475	<ul style="list-style-type: none"> 岸壁の地震・津波対策による水揚げ金額の減少を回避 既存施設における復旧費用の回避
計	614,925	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレーター ②	費用 (千円)			便益 (千円)					
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費 含む)	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲物 付加価値化の 効果	漁業就業者 の労働環境 改善効果	生命・財産保 全・防衛効果	計	現在価値 (千円)
					③	①×②×③					④	①×④
-23	14	2.465	1.728	320,000	304,762	1,297,990						
-22	15	2.370	1.763	113,000	107,619	449,650						
-21	16	2.279	1.766	2,794	2,661	10,708						
-20	17	2.191	1.764	4,536	4,320	16,697						
-19	18	2.107	1.730	100,000	95,238	347,128						
-18	19	2.026	1.745	170,000	161,905	572,341						
-17	20	1.948	1.742	180,000	171,429	581,699						
-16	21	1.873	1.635	222,639	212,037	649,327						
-15	22	1.801	1.572	132,670	126,352	357,714						
-14	23	1.732	1.630	73,973	70,450	198,856						
-13	24	1.665	1.573	58,103	55,336	144,934						
-12	25	1.601	1.579	281,996	268,568	678,947						
-11	26	1.539	1.510	1,277,268	1,182,656	2,749,172						
-10	27	1.480	1.484	2,545,374	2,356,828	5,177,202						
-9	28	1.423	1.484	156,320	144,741	305,721						
-8	29	1.369	1.446	24,942	23,094	45,703	426,746	77,333	43,371	103,992	651,442	891,543
-7	30	1.316	1.401	24,942	23,094	42,577	426,746	77,333	43,371	98,518	645,968	850,050
-6	1	1.265	1.363	24,942	22,675	39,105	426,746	77,333	43,371	93,333	640,783	810,795
-5	2	1.217	1.342	24,942	22,675	37,022	426,746	77,333	43,371	88,420	635,870	773,633
-4	3	1.170	1.295	24,942	22,675	34,351	426,746	77,333	43,371	83,766	631,216	738,433
-3	4	1.125	1.191	24,942	22,675	30,377	426,746	77,333	43,371	79,358	626,808	705,074
-2	5	1.082	1.070	24,942	22,675	26,242	426,746	77,333	43,371	75,181	622,631	673,438
-1	6	1.040	1.000	24,942	22,675	23,582	426,746	77,333	43,371	71,225	618,675	643,422
0	7	1.000	1.000	24,942	22,675	22,675	426,746	77,333	43,371	67,475	614,925	614,925
1	8	0.962	1.000	24,942	22,675	21,802	426,746	77,333	43,371	63,924	611,374	587,860
2	9	0.925	1.000	24,942	22,675	20,964	426,746	77,333	43,371	60,559	608,009	562,138
3	10	0.889	1.000	24,942	22,675	20,158	426,746	77,333	43,371	57,372	604,822	537,685
4	11	0.855	1.000	24,942	22,675	19,382	426,746	77,333	43,371	54,352	601,802	514,423
5	12	0.822	1.000	24,942	22,675	18,637	426,746	77,333	43,371	51,491	598,941	492,286
6	13	0.790	1.000	24,942	22,675	17,920	426,746	77,333	43,371	48,782	596,232	471,211
7	14	0.760	1.000	24,942	22,675	17,231	426,746	77,333	43,371	46,214	593,664	451,136
8	15	0.731	1.000	24,942	22,675	16,568	426,746	77,333	43,371	43,781	591,231	432,007
9	16	0.703	1.000	24,942	22,675	15,931	426,746	77,333	43,371	41,477	588,927	413,772
10	17	0.676	1.000	24,942	22,675	15,318	426,746	77,333	43,371	39,294	586,744	396,383
11	18	0.650	1.000	24,942	22,675	14,729	426,746	77,333	43,371	37,226	584,676	379,794
12	19	0.625	1.000	24,942	22,675	14,162	426,746	77,333	43,371	35,267	582,717	363,963
13	20	0.601	1.000	24,942	22,675	13,618	426,746	77,333	43,371	33,410	580,860	348,849
14	21	0.577	1.000	24,942	22,675	13,094	426,746	77,333	43,371	31,653	579,103	334,418
15	22	0.555	1.000	24,942	22,675	12,590	426,746	77,333	43,371	29,986	577,436	320,630
16	23	0.534	1.000	24,942	22,675	12,106	426,746	77,333	43,371	28,407	575,857	307,455
17	24	0.513	1.000	24,942	22,675	11,641	426,746	77,333	43,371	26,912	574,362	294,862
18	25	0.494	1.000	24,942	22,675	11,193	426,746	77,333	43,371	25,497	572,947	282,823
19	26	0.475	1.000	24,942	22,675	10,762	426,746	77,333	43,371	24,154	571,604	271,308
20	27	0.456	1.000	24,942	22,675	10,348	426,746	77,333	43,371	22,883	570,333	260,293
21	28	0.439	1.000	24,942	22,675	9,950	426,746	77,333	43,371	21,679	569,129	249,753
22	29	0.422	1.000	24,942	22,675	9,568	426,746	77,333	43,371	20,537	567,987	239,665
23	30	0.406	1.000	24,942	22,675	9,200	426,746	77,333	43,371	19,456	566,906	230,009
24	31	0.390	1.000	24,942	22,675	8,846	426,746	77,333	43,371	18,432	565,882	220,763
25	32	0.375	1.000	24,942	22,675	8,506	426,746	77,333	43,371	17,462	564,912	211,908
26	33	0.361	1.000	24,942	22,675	8,178	426,746	77,333	43,371	16,543	563,993	203,426
27	34	0.347	1.000	24,942	22,675	7,864	426,746	77,333	43,371	15,672	563,122	195,300
28	35	0.333	1.000	24,942	22,675	7,561	426,746	77,333	43,371	14,848	562,298	187,514
29	36	0.321	1.000	24,942	22,675	7,271	426,746	77,333	43,371	14,066	561,516	180,051
30	37	0.308	1.000	535	486	150	124,553		45	13,325	137,923	42,524
31	38	0.296	1.000	535	486	144	124,553		45	12,624	137,222	40,681
32	39	0.285	1.000	535	486	139	124,553		45	11,960	136,558	38,927
33	40	0.274	1.000	535	486	133	124,553		45	11,330	135,928	37,257
34	41	0.264	1.000	535	486	128	124,553		45	10,734	135,332	35,667
35	42	0.253	1.000	535	486	123	124,553		45	10,168	134,766	34,152

36	43	0.244	1.000	535	486	119	124,553		45	9,634	134,232	32,708
37	44	0.234	1.000	535	486	114	124,553		45	9,126	133,724	31,331
38	45	0.225	1.000	535	486	110	124,553		45	8,646	133,244	30,018
39	46	0.217	1.000	535	486	105	124,553		45	8,191	132,789	28,765
40	47	0.208	1.000	535	486	101	124,553		45	7,760	132,358	27,569
41	48	0.200	1.000	535	486	97	124,553		45	7,351	131,949	26,390
計				6,592,889	6,133,210	14,226,281		計				17,048,983

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 防波堤の整備に伴う出漁作業時間の短縮

荒天時には、波浪等の影響により漁港内での出漁準備作業等では慎重な作業を余儀なくされている。
内港第3防波堤の整備により港内の静穏度が向上し、-3m岸壁（新浜町）に係留している漁船の出漁にかかる作業時間の短縮が図られる。

区分		備考
漁船年間陸揚げ隻数（隻）	①	
さんま	28	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
いさだ網	90	
荒天時に出漁した割合（％）	②	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
さんま	荒天時出漁日数 37日 / 年間作業日数 125日	30%
いさだ網	荒天時出漁日数 24日 / 年間作業日数 100日	24%
荒天時に陸揚げした隻数（隻）	③	
さんま	8	①×②
いさだ網	22	①×②
1隻あたり乗組員数（人/隻）	④	
さんま	20	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
いさだ網	5	
1航行あたりの作業短縮時間（h）	⑤	
さんま	0.16	調査実施方法：ヒアリング調査
いさだ網	0.16	
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	2,179 漁業経営調査報告書(R5) 定置含まない
作業時間削減便益額（千円/年）	⑦	
さんま	56	③×④×⑤×⑥/1,000
いさだ網	38	
他計画との按分比	⑧	0.50 9次計画：623,400千円 現計画：623,781千円
年間便益額（千円/年）		47 ⑦の合計×⑧

2) 岸壁等の整備に伴う利用漁船の港外航行時間の削減

外來船等の大型漁船は、湾奥に位置する魚河岸地区に水揚げしていた。
新浜町地区に、-5m岸壁等を整備することにより、漁場から近い場所での水揚げが可能となり、航行時間の削減が図られる。

区分		備考
年間延べ陸揚げ隻数（隻）	①	
さんま	28	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
いさだ網	90	
1隻あたり乗組員数（人/隻）	②	
さんま	20	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
いさだ網	5	
1操業あたり航行回数	③	
さんま	入港時、出港時	2
いさだ網	入港時、出港時	2
1航行あたりの作業短縮時間（h）	④	
さんま	0.16	1.5km（短縮距離）/9.2km/h（平均速度）
いさだ網	0.16	
漁業者労務単価（円/時間）	⑤	2,179 漁業経営調査報告書(R5) 定置含まない
作業時間削減便益額（千円/年）	⑥	
さんま	390	①×②×③×④×⑤/1,000
いさだ網	314	
他計画との按分比	⑦	0.50 9次計画：623,400千円 現計画：623,781千円
年間便益額（千円/年）		352 ⑥の合計×⑦

3) 岸壁用地などの整備に伴う作業時間の短縮 (小型漁船)

魚河岸地区は、岸壁や荷さばき所の利用が錯綜し、出漁準備作業や接岸作業、水揚げ作業に多くの時間を要し非効率な操業となっている。
 新浜町地区に岸壁や用地などを整備することにより、機能分担が図られ、地元漁船等の水揚げ作業時間等の削減が図られる。

区分		備考
年間延べ陸揚隻数 (隻)	①	
かご	4,563	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
刺し網	598	
延縄	1,047	
磯建網	147	
小女子	16	
1隻あたり乗組員数 (人/隻)	②	
かご	2	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石湾漁協 調査対象者：釜石湾漁協職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
刺し網	3	
延縄	3	
磯建網	2	
小女子	2	
1操業あたりの作業短縮時間 (h)		
整備前	③	
かご	1.08	
刺し網	1.08	
延縄	1.08	
磯建網	1.08	
小女子	1.08	
整備後	④	
かご	0.92	
刺し網	0.92	
延縄	0.92	
磯建網	0.92	
小女子	0.92	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑤	2,179 漁業経営調査報告書(R5)定置含まない
作業時間削減便益額 (千円/年)	⑥	
かご	3,182	$① \times ② \times (③ - ④) \times ⑤ / 1,000$
刺し網	625	
延縄	1,095	
磯建網	103	
小女子	11	
他計画との按分比	⑦	0.18 9次計画：5,814,800千円 現計画：1,241,500千円
年間便益額 (千円/年)	902	$⑥ \times ⑦$

4) 岸壁用地などの整備に伴う作業時間の短縮 (中・大型船)

魚河岸地区は、岸壁や荷さばき所が利用が錯綜し、出漁準備作業や接岸作業、水揚げ作業に多くの時間を要し非効率な操業となっている。
新浜町地区に岸壁や用地などを整備することにより、機能分担が図られ、外来船等の水揚げ作業時間等の削減が図られる。

区分		備考
年間延べ陸揚隻数 (隻)	①	
定置		1,192
突棒		5
いか釣		6
いさだ網		90
さんま		28
1隻あたり乗組員数 (人/隻)	②	
定置		15
突棒		2
いか釣		2
いさだ網		5
さんま		20
1操業あたりの対象作業時間 (h)		
整備前	③	
定置		2.25
突棒		1.58
いか釣		1.25
いさだ網		2.16
さんま		3.17
整備後	④	
定置		1.66
突棒		1.16
いか釣		1.00
いさだ網		1.75
さんま		2.41
漁業者労務単価 (円/時間)	⑤	1,965
漁業者労務単価 (円/時間)	⑥	2,179
作業時間削減便益額 (千円/年)	⑦	
定置		20,729
突棒		9
いか釣		7
いさだ網		402
さんま		927
他計画との按分比	⑧	0.18
年間便益額 (千円/年)		3,973

R2~6の水揚げ統計資料の平均値

調査日：令和7年10月3日
調査場所：釜石湾漁協、釜石市漁連
調査対象者：釜石湾漁協職員、釜石市漁連職員
調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員
調査実施方法：ヒアリング調査

漁業経営調査報告書(R5)定置込
漁業経営調査報告書(R5)定置含まない

$① \times ② \times (③ - ④) \times ⑤ / 1,000$
 $① \times ② \times (③ - ④) \times ⑥ / 1,000$

9次計画：5,814,800千円 現計画：1,241,500千円

⑦の合計×⑧

5) 岸壁・外郭施設の整備に伴う漁船耐用年数の延長

天時において港内の静穏度が低下することにより、漁船同士の衝突事故が発生している。また、休憩岸壁の不足に伴い漁船の動線が錯綜し、これも衝突の一因となっている。

防波堤・岸壁の整備により、漁船の摩耗や破損等を防ぎ、漁船の耐用年数の延長が図られる。

区分		備考
漁船の平均建造費 (千円/t)	①	4,700
GDPデフレーター(R7)	②	110.2
GDPデフレーター(R6)	③	110.2
漁船の平均耐用年数 (年)	整備前	④
漁船の平均耐用年数 (年)	整備後	⑤
対象漁船隻数 (隻)	⑥	
イカ・イサダ		3
大型漁船		9
対象漁船平均トン数 (t/隻)	⑦	
イカ・イサダ	43t/3隻	14.3
大型漁船	1,107t/9隻	123.0
他計画との按分比	⑧	0.50
年間便益額 (千円/年)		119,279

R5造船統計調査票
内閣府経済社会総合研究所
(R7の数値はR6の数値を準用)
減価償却資産の耐用年数等に関する省令
実態調査結果 (延長年：3.17年)

R4港勢調査結果より

$① \times (②/③) \times (1/④ - 1/⑤) \times ⑥ \times ⑦ \times ⑧$

9次計画：623,400千円 現計画：623,781千円

6) 荷さばき所整備に伴う搬出入作業時間の削減効果（生産者）

搬入作業において、動線が明確になっていないことから各種作業が錯綜していることで多くの時間を要し非効率な操業となっている。
作業動線を一方方向にすることにより、搬出入作業時間の削減が図られる。

区分		備考	
年間延べ陸揚隻数（隻）	①		
定置	1,192	R2～6の水揚げ統計資料の平均値	
磯建網	147		
刺網	598		
延縄	1,047		
いか釣	6		
突棒	5		
いさだ網	90		
小女子	16		
さんま	28		
かご	4,563		
その他漁業	952		
搬出入作業員数（人/隻）	②		
定置	16		調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石湾漁協、釜石市漁連 調査対象者：釜石湾漁協職員、釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
磯建網	3		
刺網	4		
延縄	4		
いか釣	3		
突棒	3		
いさだ網	6		
小女子	3		
さんま	21		
かご	3		
その他漁業	3		
搬出入作業時間（h）			
整備前	③		
定置	3.00	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石湾漁協、釜石市漁連 調査対象者：釜石湾漁協職員、釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
磯建網	2.00		
刺網	2.00		
延縄	2.00		
いか釣	1.50		
突棒	1.00		
いさだ網	2.00		
小女子	1.00		
さんま	2.00		
かご	2.00		
その他漁業	2.00		
整備後	④		
定置	2.50		①×②×(③-④)×⑤/1,000
磯建網	1.75		
刺網	1.75		
延縄	1.75		
いか釣	1.25		
突棒	0.75		
いさだ網	1.75		
小女子	0.75		
さんま	1.75		
かご	1.75		
その他漁業	1.75		
漁業者労務単価（円/時間）	⑤	1,965	
漁業者労務単価（円/時間）	⑥	2,179	
作業時間削減便益額（千円/年）	⑦		
定置	18,738	①×②×(③-④)×⑥/1,000	
磯建網	240		
刺網	1,303		
延縄	2,281		
いか釣	9		
突棒	8		
いさだ網	294		
小女子	26		
さんま	320		
かご	7,457		
その他漁業	1,555		
年間便益額（千円/年）	32,231		⑦の合計

7) 荷さばき所整備に伴う搬出入作業時間の削減効果（運送業者、卸売り人、買受人）

搬入作業において、動線が明確になっていないことから各種作業が錯綜していることで多くの時間を要し非効率な操業となっている。
作業動線を一方方向にすることにより、搬出入作業時間の削減が図られる。

区分		備考
年間延べ台数 (台)	①	
運送業者	33台/日×300日	9,900
年間作業日数 (日)	②	ヒアリング調査
卸売人		300
買受人		300
搬出入作業員数	③	市場開設25日/月×12カ月
運送業者 (人/台)		3
卸売人 (人/日)		11
買受人 (人/日)		33
搬出入作業時間 (h)		
整備前	④	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
運送業者		4.00
卸売人		2.00
買受人		2.00
整備後	⑤	
運送業者		3.50
卸売人		1.75
買受人		1.75
労務単価 (円/時間)	⑥	2,207
作業時間削減便益額 (千円/年)	⑦	
運送業者		32,773
卸売人		1,820
買受人		5,462
年間便益額 (千円/年)		40,055
		①×③×(④-⑤)×⑥/1,000
		②×③×(④-⑤)×⑥/1,000
		②×③×(④-⑤)×⑥/1,000
		⑦の合計

8) 市場機能存続による代替市場への陸揚げコスト増大回避（沖合漁業）

既存魚市場は、老朽化が進行し、使用できなくなることが懸念されており、市場機能が維持できない場合は代替市場を利用せざるを得ない状況にある。
新たに魚市場を整備することにより、外来船が代替市場へ陸揚げするために必要なコスト（燃料費・時間）を削減することができる。

（燃料コスト削減）

区分		備考
年間延べ陸揚げ隻数 (隻/年)	①	
さんま		28
代替市場までの増大距離 (km)	②	46.25
漁船航行速度 (km/h)	③	20
代替市場までの増大時間 (h/隻)	②/③	2.31
1隻あたりの航行回数 (回)	⑤	
棒受網		1
標準燃料消費率 (kg/PS・h)	⑥	0.17
油量重量〔重油〕 (kg/m3)	⑦	860
漁船馬力 (PS)	⑧	
さんま		678
重油削減量(1)	⑨	
さんま		8,669
潤滑油削減量(1)	⑩	
さんま		173
漁船燃油原価〔重油〕 (円/L)	⑪	98.2
漁船燃油原価〔潤滑油〕 (円/L)	⑫	345
年間便益額 (千円/年)		910
		⑨×④×⑤×(⑥/⑦)×⑧×1,000
		水産庁費用対効果分析ガイドライン 重油×2%
		A重油 R7.11県単価
		建設物価 R7.11
		⑨×⑪+⑩×⑫

（航行時間コスト削減）

区分		備考
年間延べ陸揚げ隻数 (隻/年)	①	
さんま		28
代替市場までの増大距離 (km)	②	46.25
漁船航行速度 (km/h)	③	20
代替市場までの増大時間 (h/隻)	②/③	2.31
1隻あたりの乗組員数 (人)	⑤	
さんま		20
1回あたりの航行回数 (回)	⑥	
さんま		1
漁業者労務単価 (円/時間)	⑦	2,179
年間便益額 (千円/年)		2,823
		①×④×⑤×⑥×⑦
		調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		漁業経営調査報告書(R5) 定置漁船を含まない

9) 市場機能存続による代替市場への陸揚げコスト増大回避 (沿岸漁業)

既存魚市場は、老朽化が進行し、使用できなくなることが懸念されており、市場機能が維持できない場合は代替市場を利用せざるを得ない状況にある。新たに魚市場を整備することにより、地元漁船が代替市場へ陸上輸送するために必要なコスト(燃料費・時間)を削減することができる。

〈燃料コスト削減〉

区分		備考
代替市場までの陸送距離 (km)	①	108 googlemapよりL=54km×2(往復)
年間延べ取り扱い量 (t/年)	②	
定置		4,546
磯建網		9
刺網		62
延縄		20
いさだ網		508
小女子		31
かご		227
その他漁業		22
陸送必要車両数 [4t車換算] (台/年)	③	
定置		1,895
磯建網		4
刺網		26
延縄		9
いさだ網		212
小女子		13
かご		95
その他漁業		10
車種別走行原単位 (円/台・km)	④	36.04 国土交通省費用分析マニュアルより「車種別走行経費原価」高速・地域高規格・普通貨物・55km/h
GDPデフレーター (R7)	⑤	110.2 内閣府経済社会総合研究所
GDPデフレーター (R6)	⑥	110.2 (R7の数値はR6の数値を準用)
年間便益額 (千円/年)		8,812 (③×①×④×(⑤/⑥))/1,000

〈陸送用水コスト削減〉

区分		備考
年間延べ取り扱い量 (t/年)	①	
定置		4,546
磯建網		9
刺網		62
延縄		20
いさだ網		508
小女子		31
かご		227
その他漁業		22
鮮度保持用水使用割合 (%)	②	
定置		20
磯建網		20
刺網		20
延縄		20
いさだ網		20
小女子		20
かご		20
その他漁業		20
鮮度保持用水使用量 (t)	③	
定置		909
磯建網		2
刺網		12
延縄		4
いさだ網		102
小女子		6
かご		45
その他漁業		4
氷価格 (千円/t)	④	13 釜石魚市場から聞き取り
年間便益額 (千円/年)		14,092 ③×④

〈増大陸送輸送車配備コスト削減〉

区分			備考
運搬車（4t 保冷車）購入費（千円）	①	16,000	4t標準ロング冷凍車
運搬車（4t 保冷車）耐用年数（年）	②	5	水産加工会社（保冷車保有）から聞き取り
1日当たり陸送必要車両数（台）	③	8	陸送必要車両数/300（魚市場開場日）
年間便益額（千円/年）		25,600	(①/②) × ③

〈増大フォークリフト配備コスト削減〉

区分			備考
フォークリフト購入費（千円）	①	525	3,150千円/耐用年数6年、釜石魚市場から聞き取り（H23実績）
フォークリフト購入台数（台）	②	5	釜石魚市場からの聞き取り（保有台数を宮古でも購入）
GDPデフレータ（R7）	③	110.2	内閣府経済社会総合研究所
GDPデフレータ（H27）	④	97.2	（R7の数値はR6の数値を準用）
年間便益額（千円/年）		2,976	①×②×（③/④）

〈輸送時間コスト削減〉

区分			備考
代替市場までの陸送距離（km）	①	108	google mapよりL=54km×2（往復）
代替市場までの陸送時間（h）	②	1.73	googlemapより52分×2（往復）/60
年間市場平均取り扱い量（t）	③		
定置		4,546	
磯建網		9	
刺網		62	
延縄		20	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
いさだ網		508	
小女子		31	
かご		227	
その他漁業		22	
陸送必要車両数〔4t車換算〕（台/年）	④		
定置		1,895	
磯建網		4	
刺網		26	
延縄		9	③/（4×0.6）※平均積載率60%で算出
いさだ網		212	
小女子		13	
かご		95	
その他漁業		10	
運搬所所要人数（人/台）	⑤		
定置		2	
磯建網		2	
刺網		2	調査日：令和7年10月3日
延縄		2	調査場所：釜石市漁連
いさだ網		2	調査対象者：釜石市漁連職員
小女子		2	調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員
かご		2	調査実施方法：ヒアリング調査
その他漁業		2	
労務単価（円/時間）	⑥	2,207	R5厚労省勤労統計調査
年間便益額（千円/年）		17,288	②×④×⑤×⑥

〈積み下ろし時間コスト削減〉

区分			備考
積み下ろし時間（h/台）	①	1	釜石魚市場からの聞き取り
陸送必要車両数〔4t車換算〕（台/年）	②		
定置		1,895	
磯建網		4	
刺網		26	
延縄		9	年間取扱量(t)/(4×0.6) ※平均積載率60%で算出
いさだ網		212	
かご		95	
その他漁業		10	
運搬所所要人数（人/台）	③		
定置		2	
磯建網		2	調査日：令和7年10月3日
刺網		2	調査場所：釜石市漁連
延縄		2	調査対象者：釜石市漁連職員
いさだ網		2	調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員
かご		2	調査実施方法：ヒアリング調査
その他漁業		2	
労務単価（円/時間）	④	2,207	R5厚労省勤労統計調査
年間便益額（千円/年）		9,935	

10) 市場機能存続による代替市場への買受業者輸送コストの増大回避（沖合漁業）

既存魚市場は、老朽化が進行し、使用できなくなることが懸念されており、市場機能が維持できない場合は代替市場を利用せざるを得ない状況にある。新たに魚市場を整備することにより、外来船の代替市場への陸揚げに伴う買受人の輸送コスト（燃料費・時間）が削減される。

〈燃料コスト削減〉

区分			備考
代替市場までの陸送距離 (km)	①	108	googlemapよりL=54km×2(往復)
年間市場平均取り扱い量 (t)	②		R2～6の水揚げ統計資料の平均値
さんま		227	
陸送必要車両数 [4t車換算] (台/年)	③		②/(4×0.6) ※平均積載率60%で算出
さんま		95	
車種別走行原単位 (円/台・km)	④	36.04	国土交通省費用分析マニュアルより「車種別走行経費原価」高速・地域高規格・普通貨物・55km/h
GDPデフレーター (R7)	⑤	110.2	内閣府経済社会総合研究所
GDPデフレーター (R6)	⑥	110.2	(R7の数値はR6の数値を準用)
年間便益額 (千円/年)		369	③×①×④×(⑤/⑥)

〈陸送用水コスト削減〉

区分			備考
年間延べ取り扱い量 (t/年)	①		R2～6の水揚げ統計資料の平均値
さんま		227	
鮮度保持用水使用割合 (%)	②		調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
さんま		20	
鮮度保持用水使用量 (t)	③		①×②
さんま		45	
氷価格 (千円/t)	④	13	釜石魚市場から聞き取り
年間便益額 (千円/年)		585	③×④

〈輸送時間コスト削減〉

区分			備考
代替市場までの陸送距離 (km)	①	108	google mapよりL=54km×2 (往復)
代替市場までの陸送時間 (h)	②	1.73	googlemapより52分×2 (往復) /60
年間市場平均取り扱い量 (t)	③		R2～6の水揚げ統計資料の平均値
さんま		227	
陸送必要車両数 [4t車換算] (台/年)	④		③/(4×0.6) ※平均積載率60%で算出
さんま		95	
運搬所所要人数 (人/台)	⑤		調査日：令和7年11月5日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
さんま		2	
労務単価 (円/時間)	⑥	2,207	R5厚労省勤労統計調査
年間便益額 (千円/年)		725	②×④×⑤×⑥

11) 市場機能存続による代替市場への買受業者輸送コストの増大回避（沿岸漁業）

既存魚市場は、老朽化が進行し、使用できなくなることが懸念されており、市場機能が維持できない場合は代替市場を利用せざるを得ない状況にある。新たに魚市場を整備することにより、地元船の代替市場への陸送に伴う買受人の輸送コスト（燃料費・時間）が削減される。

〈燃料コスト削減〉

区分			備考
代替市場までの陸送距離 (km)	①	108	googlemapよりL=54km×2(往復)
年間市場平均取り扱い量 (t)	②		R2～6の水揚げ統計資料の平均値
定置		4,546	
磯建網		9	
刺網		62	
延縄		20	
いさだ網		508	
小女子		31	
かご		227	
その他漁業		22	
陸送必要車両数 [4t車換算] (台/年)	③		
定置		1,895	
磯建網		4	
刺網		26	
延縄		9	
いさだ網		212	
小女子		13	
かご		95	
その他漁業		10	
車種別走行原単位 (円/台・km)	④	36.04	国土交通省費用分析マニュアルより「車種別走行経費原価」高速・地域高規格・普通貨物・55km/h
GDPデフレーター (R7)	⑤	110.2	内閣府経済社会総合研究所
GDPデフレーター (R6)	⑥	110.2	(R7の数値はR6の数値を準用)
年間便益額 (千円/年)		8,812	③×①×④×(⑤/⑥)

〈陸送用水コスト削減〉

区分		備考
年間延べ取り扱い量 (t/年)	①	
定置	4,546	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
磯建網	9	
刺網	62	
延縄	20	
いさだ網	508	
小女子	31	
かご	227	
その他漁業	22	
鮮度保持用水使用割合 (%)	②	
定置	20	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
磯建網	20	
刺網	20	
延縄	20	
いさだ網	20	
小女子	20	
かご	20	
その他漁業	20	
鮮度保持用水使用量 (t)	③	
定置	909	①×②
磯建網	2	
刺網	12	
延縄	4	
いさだ網	102	
小女子	6	
かご	45	
その他漁業	4	
氷価格 (千円/t)	④	
年間便益額 (千円/年)	14,092	③×④

〈増大陸送輸送車配備コスト削減〉

区分		備考
運搬車 (4t 保冷車) 購入費 (千円)	①	16,000 4t標準ロング冷凍車
運搬車 (4t 保冷車) 耐用年数 (年)	②	5 水産加工会社 (保冷車保有) から聞き取り
1日当たり陸送必要車両数 (台)	③	33 賞受人数67人×0.5 (聞き取り)
年間便益額 (千円/年)	105,600	(①/②)×③

〈輸送時間コスト削減〉

区分		備考
代替市場までの陸送距離 (km)	①	108 google mapよりL=54km×2 (往復)
代替市場までの陸送時間 (h)	②	1.73 googlemapより52分×2 (往復) /60
年間市場平均取り扱い量 (t)	③	
定置	4,546	R2～6の水揚げ統計資料の平均値
磯建網	9	
刺網	62	
延縄	20	
いさだ網	508	
小女子	31	
かご	227	
その他漁業	22	
陸送必要車両数 [4t車換算] (台/年)	④	
定置	1,895	③/ (4×0.6) ※平均積載率60%で算出
磯建網	4	
刺網	26	
延縄	9	
いさだ網	212	
小女子	13	
かご	95	
その他漁業	10	
運搬所所要人数 (人/台)	⑤	
定置	2	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石市漁連 調査対象者：釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査
磯建網	2	
刺網	2	
延縄	2	
いさだ網	2	
小女子	2	
かご	2	
その他漁業	2	
労務単価 (円/時間)	⑥	
年間便益額 (千円/年)	17,288	②×④×⑤×⑥

(2) 漁獲物付加価値の効果

1) 高度衛生管理型荷さばき所等の整備による衛生管理面の強化効果

県内の中核的市場であるにも関わらず、施設が老朽化（東日本大震災により倒壊）しており、十分な衛生管理対策ができていなかった。高度衛生管理型荷さばき所及び岸壁等の整備を行うことにより、水産物の衛生管理面が強化される。対象とする取り扱い金額については、閉鎖型による高度衛生管理型荷さばき所を整備する魚河岸地区を対象とする。

区分			備考
魚河岸地区の年間取扱金額（千円/年）	過去5年の平均値	①	966,670
R2			858,843
R3			788,423
R4			817,950
R5			1,137,088
R6			1,231,050
衛生管理効果率（%）		②	8
年間便益額（千円/年）			77,333
			①×②/100

水揚げ統計資料

AHP法による価格形成における衛生管理効果の下限值

(3) 漁業就業者の労働環境改善効果

1) 屋根付き岸壁等の整備に伴う労働環境改善効果

魚河岸地区は岸壁や背後用地が狭く、荷さばき所付近においても陸揚げ作業や積み込み作業などの多くの作業が錯綜し、市場関係者や漁業者の安全が確保されていない。また、雨風の影響を受けており、選別時に多大な労力を要している。

荷さばき所を増設することで、施設内の作業動線の輻輳が解消され、安全に作業ができるほか、岸壁上へ屋根が設置されることにより、岸壁における選別作業において、作業環境が改善される。

区分		備考	
年間陸揚延べ隻数 (隻/年)	①	R2~6の水揚げ統計資料の平均値	
定置	1,192		
磯建網	147		
刺網	598		
延縄	1,047		
いか釣	6		
突棒	5		
いさだ網	90		
小女子	16		
さんま	28		
かご	4,563		
その他漁業	952		
年間作業日数 (日/年)	②		市場開設25日/月×12カ月
卸売人	300		
買受人	300	調査日：令和7年10月3日 調査場所：釜石湾漁協、釜石市漁連 調査対象者：釜石湾漁協職員、釜石市漁連職員 調査実施者：岩手県沿岸局広域振興局職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
搬出入作業員数 (人/隻)	③		
定置	16		
磯建網	3		
刺網	4		
延縄	4		
いか釣	3		
突棒	3		
いさだ網	6		
小女子	3		
さんま	21		
かご	3		
その他漁業	3		
卸売人	11		
買受人	33		
岸壁選別作業時間 (h)	④		
定置	2.00		
磯建網	1.00		
刺網	1.00		
延縄	1.00		
いか釣	0.50		
突棒	0.50		
いさだ網	0.50		
小女子	0.50		
さんま	2.00		
かご	1.00		
その他漁業	1.00		
卸売人	1.75		
買受人	1.75		
岸壁上での延べ作業時間 (h)	⑤	①×③×④	
定置	38,144		
磯建網	441		
刺網	2,392		
延縄	4,188		
いか釣	9		
突棒	8		
いさだ網	270		
小女子	24		
さんま	1,176		
かご	13,689		
その他漁業	2,856		
卸売人	5,775		
買受人	17,325		
漁業者労務単価 (円/時間)	⑥	1,965 漁業経営調査報告書(R5) 定置漁船込	
漁業者労務単価 (円/時間)	⑦	2,179 漁業経営調査報告書(R5) 定置漁船を含まない	
労務単価 (円/時間)	⑧	2,207 R5厚労省勤労統計調査	
作業ランク			
整備前	Bランク	⑨	1,240 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン参考資料(R7)下表のとおり
整備後	Cランク	⑩	1,000
年間便益額 (千円/年)		43,326	⑤×⑥×(⑨-⑩)/1,000 ⑤×⑦×(⑨-⑩)/1,000 ⑤×⑧×(⑨-⑩)/1,000 合計

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

評価指標		ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠（評価の目安）	
			整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気が頻発している	3			ほぼ毎日のように事故や病気が発生	
		b 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある	
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		車両と作業が錯綜、市場の老朽化で屋根・壁材の落下で危険	
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○			転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1				軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
危険性 小計		0~6	3	0			
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷暑、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		岸壁市境間の距離が長く、市境屋根の老朽化等で雨風の影響大	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○			
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		荷さばきスペースが狭小で、作業負担が大きい	長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1		○		車両の横付けができず運搬距離が長い	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計			9	2	Bランク→Cランク		

Aランクの条件：評価ポイント計16~13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5~0ポイント

2) 臨港道路（法面）の整備に伴う労働環境改善効果

臨港道路の法面が崩壊する危険性があり、造船所への安全な交通が確保されていない。法面保護を行うことにより、造船所への安全な交通が可能となり、利便性の向上が図られる。

区分			備考
1日あたりの通行台数（台/日）	①	36	近隣造船所の作業員数
年間通行日数（日/年）	②	238	近隣造船所の出勤日数
1台あたりの通行距離（km/台）	③	0.4	整備範囲0.2km×2（出勤・退勤）
1日あたりの通行時間（時間/日）	④	0.01	③/通行速度（40km/h）
年間延べ通行時間（時間/年）	⑤	85	①×②×④
労務単価（円/時間）	⑥	2,207	R5厚労省勤労統計調査
作業ランク			
整備前	Bランク	⑦	1,240
整備後	Cランク	⑧	1,000
年間便益額（千円/年）		45	⑤×⑥×（⑦-⑧）/1,000

施設整備前後の労働環境評価チェックシート

評価指標		ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠（評価の目安）	
			整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気が頻発している	3			ほぼ毎日のように事故や病気が発生	
		b 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある	
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		落石による事故の発生が懸念	
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3				海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○		通行中に落石が発生した場合、重症となる可能性がある	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1				軽い打撲等
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○		
危険性 小計		0~6	3	0			
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5				酷暑、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		降雨、強風時に落石の影響を受けやすい	風雨、波浪の飛沫等	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○			
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0					
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5				人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3				長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1				車両の横付けができず運搬距離が長い	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0		○			
評価ポイント 計			6	1	Bランク→Cランク		

Aランクの条件：評価ポイント計16~13ポイント

Bランクの条件：評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件：評価ポイント計5~0ポイント

(4) 生命・財産保全・防衛効果

1) 岸壁の地震・津波対策による水揚金額の減少を回避

大規模地震が発生した際には、岸壁の倒壊が懸念され、当該漁港における陸揚げが不可能な状況となることが想定される。
耐震強化岸壁を整備することにより、災害時における陸揚金額の損失が回避される。

区分		備考
魚河岸地区の年間取扱金額 (千円/年)	過去5年の平均値 ①	1,371,198
R2		1,581,580
R3		1,112,602
R4		966,475
R5		1,297,983
R6		1,897,350
陸揚岸壁延長 (m)	②	785 釜石漁港の陸揚岸壁全延長
耐震・耐津波強化岸壁延長 (m)	③	114 釜石漁港の耐震・耐津波強化岸壁延長
陸揚損失期間 (年)	④	1 過去の実績
漁業経費率 (%)	⑤	0.482 R5漁業経営調査報告
休業損失額 (千円)	⑥	103,149 ①×④×(1-⑤)
耐震性能を強化した施設が計算開始から t 年目に機能を発揮する確率% ※ここでは、評価年の確率を示す	⑦	5.344 $(1/19-1/500)*(1-1/19)^{(t-1)}$
年間便益額 (千円/年) ※ここでは、評価年の便益額を示す		5,512 ⑥×⑦/100

2) 既存施設における復旧費用の回避

大規模地震が発生した際には、岸壁の倒壊が懸念され、被災した場合には復旧費用が発生する。耐震強化岸壁を整備することにより、復旧費用の発生が回避される。

対象とする施設については、耐震強化を行う4m岸壁とする。

区分		備考
整備費用 (千円)	①	745,597 漁港台帳
整備年度		H28 漁港台帳
漁港デフレクター (H5~7)	②	1,555 水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン参考資料(R7)
整備費用の現在価値	③	1,159,403 ①×②
震災での被害想定期間 (年)	④	1 過去の実績
復旧費用の回避	⑤	1,159,403 ③×④
耐震性能を強化した施設が計算開始から t 年目に機能を発揮する確率% ※ここでは、評価年の確率を示す	⑥	5.344 $(1/19-1/500)*(1-1/19)^{(t-1)}$
年間便益額 (千円/年) ※ここでは、評価年の便益額を示す		61,963 ⑤×⑥/100